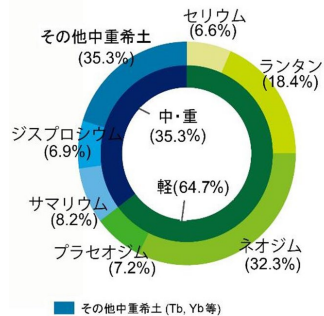


海洋安全保障プラットフォームの構築 (内閣府科学技術・イノベーション推進事務局) 令和7年度補正予算額 164億円

事業概要・目的

- 南鳥島EEZ内の海底の泥中に賦存が確認されているレアアースの生産技術システムを確立し、世界全体のサプライチェーンが特定国に依存しているレアアースの国産資源開発につなげる。
- 令和9年に予定されている南鳥島沖の水深6,000m海域でのレアアース泥採鉱試験に向けて、経済性評価に必要な規模でのレアアース泥採鉱、南鳥島を活用した脱水処理等一次処理、本土への運搬、分離・精製まで含めたレアアース生産プロセスの実証試験を加速させる。



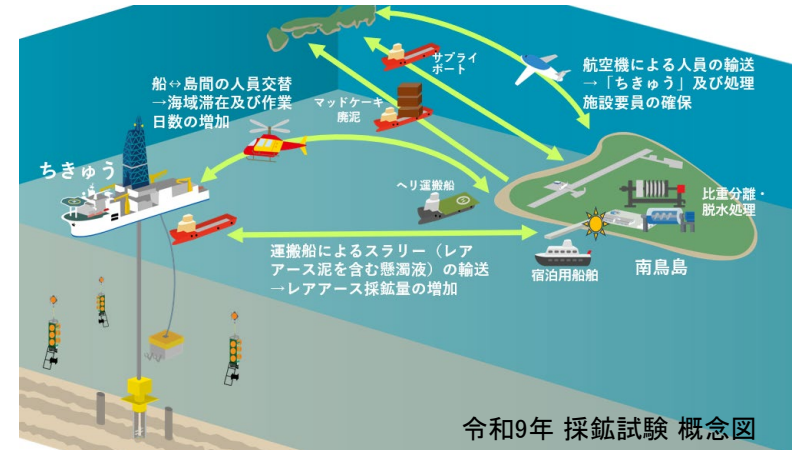
精製物Bに含まれるレアアース元素の含有率
南鳥島レアアース元素の含有率



レアアース試料
(シュウ酸化合物として)

事業イメージ・具体例

- 経済安全保障上重要なレアアースの国産化・産業化に係る課題抽出に向け、水深約6,000mの海底からのレアアース生産プロセス実証を加速させる。具体的には、経済性評価に必要な規模でレアアース泥を採鉱するための体制構築、レアアース泥を南鳥島陸上に運び一次処理するための脱水処理施設等の基盤整備及び処理体制の構築、並びに本土における分離・精製設備等整備を行い、世界初のレアアース泥からのレアアース生産プロセスの開発・実証・社会実装を加速させる。



資金の流れ



期待される効果

レアアース泥の採鉱から分離・精製まで、産業化を視野に入れたレアアース生産プロセスを開発・実証することで、我が国のEEZにおいて今後のレアアース需要に対応できる安定した国産レアアース供給体制の実現、特定国への過度な供給依存の改善、資源安全保障に貢献する。